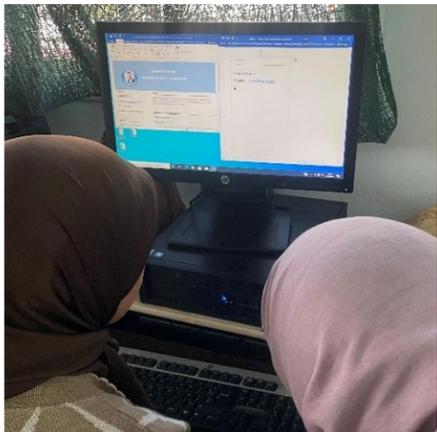


Zaitoune Meknèssa

Meknès of the Olives

モロッコでの活動レポート



Étude Word & Power Point

—活動について Vol. 13

WORD & POWER POINT の学習

前号でお伝えしたとおり、順調にWORDの学習を進めることができ、特に履歴書をゼロから作成し、より見栄えが良くなるよう細かい指導を行うことができました。空き時間があると、自身の履歴書を完成させるために手を止めずに作業を続けている生徒もいました。

生徒たちは、とても素直で真面目。それゆえに、演習にあるテキストをいつも一から入力します。また、間違いに気付くと入力したものを削除して、再びタイピングしている時もありました。せっかく早くできるようになったタイピングですが、できることを繰り返し時間を費やす必要はないので、教材がコンピューターの中にあり、コピーできる場合はショートカットを使用して、作業を簡単に、作業時間を短くする工夫を常に考えてと教えることも出来ました。

12月後半にはPower Pointの学習に進むことができました。Power Pointは、既

に私が何度か自己紹介や日本についてのプレゼンテーションを行った際、これは後で学習するPower Pointで作成していることを伝えており、生徒も興味を示してくれていました。

また、あえてアニメーションや音付きの動画、文字に合わせて切り抜いた動画を組み合わせるものなどを使用していたため、それらを自分たちも早くできるようになりたいと言ってきていました。

やはり、アニメーションなどの動きのあるものを自分で操作し、再現できることは反響が良く、できたときの生徒の笑顔はとて素晴らしいものでした。

残念ながら今年度の生徒とはここまで。どこまで技術を習得して、成長するのか楽しみでしたが、最後まで携われなくて残念&別れの時が1日1日と迫り、寂しさも増すばかりでした。

ChokRan bzaff !

2年のモロッコ Meknès での活動を終え、無事帰国しました。

中川可奈子です。

----- JICA 海外協力隊

香川県善通寺市育ち、東京のIT通信企業を退職。現在モロッコで6番目に大きな都市「Meknès」で、「PCインストラクター」として活動してきました。



▼以下のQRコードより私の過去の活動レポートをPDF(拡大可能)でご覧いただけます。



La vie quotidienne au Maroc.

モロッコの日常にある景色



所狭しと並べられている豆やパスタやドライフルーツ、茶葉や小麦粉などと、生活必需品の数々。この光景もモロッコならではの、見納めと思うと寂しく思いました。



メディナ（旧市街）に行けば人が行き交う道で糸を張り、作業をしている光景に出会います。そして竹に巻き付けられたカラフルな糸がずらりと並ぶ、糸屋さ。見るのも選ぶのもワクワクします。ちなみにこの糸はシルク。と言っても日本で知られているシルクとは違って、サボテンの繊維でできています。

道ですれ違った働き者のロバ。一人で荷物をたくさん背負って運んで歩いていました。整備されていない道や狭く段差や高低差のある場所では、今でも車よりロバの方が大活躍しているモロッコの生活です。





Les cadeaux de mes élèves pour moi

—活動について Vol.14

-----生徒やセンターの方々とお別れパーティーと贈り物

始まりや出会いがあれば、終わりや別れの時はいつか訪れるもの。私が参加できる授業の最終日、急遽 Riad Zaitoune センターのディレクターやスタッフの方々が生徒がお別れのパーティーを開催してくれました。

私がヘナアートが好きだと知って、生徒がヘナをしてくれました。永遠に残しておけないのが残念ですが、とても嬉しかったです。またこうして美しい伝統的な手仕事を持つ女性が多いのもモロッコの特徴であり、素敵なお店です。また、イスラムのお祈りの時に使う数珠や伝統的なメイク道具もプレゼントしてもらいました。イスラムの女性を写真に撮ることは基本御法度なので、掲載することはできませんが、たくさん生徒とも写真を撮り、素敵な記念と思い出になりました。

モ ス ク ----- Mosque

モロッコの街の至る所、どんなところにもあるモスク。イスラム教の国であるモロッコで人々の生活と共に、どんな小さなコミュニンにもあるのを見かけます。

ミナレットと呼ばれる塔と共に、お祈りをする部屋があり、それらに隣接して商店が並ぶこともあります。メディナの中などでは、その全貌を見るのは難しいのですが、このように開けた場所にあるモスクでは全体を見ることが出来ます。

ミナレットでは、礼拝を呼びかけるアザーンが流れます。このアザーンは肉声でなければならないと言われており、このモスクのイマームさんの声は美しいなんて会話が生まれたりします。



Mon petit voyage 任国内旅行— Vol.8

最後の任国内旅行に選んだのは、観光都市の MARRAKECH。在住の日本人の方々にお会いしたり、にぎやかなメディナ(旧市街)の中を散策して、可愛いモロッコ雑貨を見納め。自分と他国にいる同期へのお土産は、やっぱりバブーシュ。私はモロッコの王様の着用していたジェラバの色に合わせて、黄色×紫のとんがりバブーシュにしました。同期には、ビデオ電話を繋いで色の組み合わせを選んでもらいました。

MARRAKECH のレストランでは、見た目も美しく観光客向けにインスタ映えする盛り付けがされることがあります。

こちらは、通常、中に隠れているチキンが色鮮やかに並べられた野菜の上に置かれたクスクス。



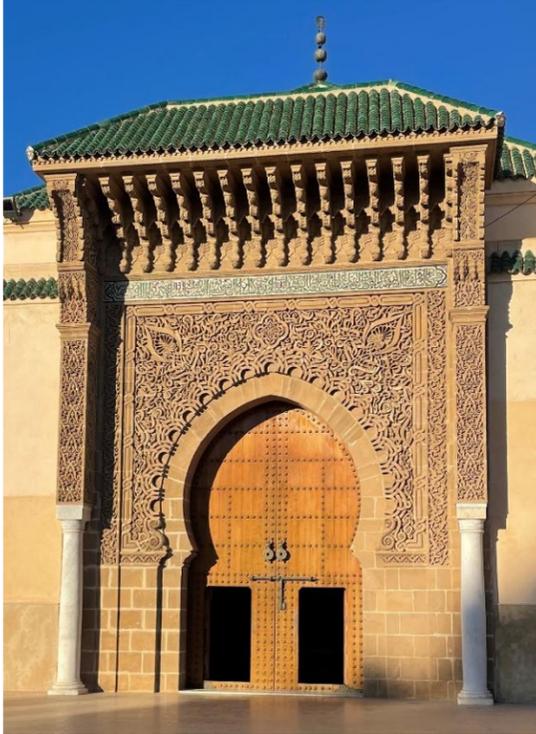
とっても小さな店構えだけど、輪切りの木をテーブルやコースターなどに使い、独特な雰囲気を持つ Coffee Houmti。行き交う人々を眺めながら休憩します。



リヤドに近く、何度も前を通る店先に並ぶ、可愛いアルミ製のポット。でも、いつも店主がいないんです。そうしてやっと手に入れてリアドに戻ると、これはカフェオレ用なんだと教えてくれました。



もくもくと煙を上げながら焼きあげられるプロシエット。これは食べずにはられません。



Meknès を首都に、フランスのヴェルサイユ宮殿を築くという夢を持つ、王が眠る壮麗な霊廟 “ムーレイ・イスマイル廟”

メクネス

Promenade dans la ville de "Meknès"

- 私の任地 “メクネス” の街歩き - Vol.6

ムーレイ・イスマイル廟



MEKNES のメディナ (旧市街) の反対側、ラディム広場に面するマンスール門をくぐり先に進むと見える左右に小さなアーチと真ん中に大きな2つのアーチを持つムーレイ・イスマイルの門が現れる。そこをくぐると右手に商店が並び、左手のフェンスの中にあるのがムーレイ・イスマイル廊。

最近修復されたこともあり、一歩中に入るとひんやりとした空気に包まれ、美しいゼリージュや石膏のデザインが所狭しと装飾されているのを見ることができます。



一番奥にある中庭を通り、靴を脱いで中に入ると絨毯がひかれたお祈りの部屋があります。その部屋に隣接して、ムーレイ・イスマイルの墓室があり、子孫と共に眠っているのを見ることができます。

ここは珍しく非ムスリムでも入ることができるので、是非

モロッコへ旅行した際には、Meknès にも立ち寄り、ムーレイ・イスマイル廟を見られることをお勧めします。

残念ながら、マンスール門は任期中にすべての足場を外して、全貌を見ることはできませんでしたが、現在は見るようになるようです。また、スワニと呼ばれる穀倉と貯水湖の修復も進んでいます。また Meknès を訪れる時の楽しみにしたいと思っています。



Meknès の人々の食を支える街食堂



帯でも忙しそうです。私の一番のお気に入り Tajine もまた、彼のカリフラワー入りの Tajine です。一杯でおなか一杯になる豆のスープ “ピサラ”。



街を歩き交う人々や近隣で働く人々に、安価で提供し続け、おなかを満たす Mohamed さんの店。どんな時間

Meknès を去る最後の金曜日を選んでのもこのクスクス。他の任地の隊員に驚かれたじゃがいも入りです。



この Shiba というお茶を入れてくれます。彼もまたたくさん砂糖を入れるので、一瞬で血糖値は爆上がりします。



私はいつも引き寄せられるようにここに立ち寄っては、街の人々の観察をしていました。また、いつも彼は

12月に入ると、日中は温かくても、陽が沈むと寒い日が増えます。そんな日は Harira スープをいただきます。思い思いの容器を持参して、家や職場に持ち帰る人もいます。そんな容器を観察するのも楽しみの一つでした。





モロッコを去る最終日。ちょうど2年前、ここに立った時のことを思い出しました。

Rapport final de deux années d'activités

- 2年の活動についての最終報告

最終報告会

2年の活動の終わりに任地では、配属先とフランス語で最終報告をし、首都上京後に JICA 事務所で日本語で最終報告会を実施します。

任地では、常にディスカッションの機会を持ちながら活動してきたので、どうしようもない事を理解しながら、生徒の想いや改めての改善事項について伝えることにしました。特に卒業証書を受け取ることができるのが、卒業後3か月半になるのは遅すぎるので、仮のものでもいいので MEKNES 支局で発行することができないかなどの妥協案を伝えさせていただき、卒業後の就業先がない事については、学習の動機やモチベーションの維持にも直結するため、E-コマースをはじめとする企業のバックオフィスの誘致が必要な旨を改めて伝えました。

JICA 事務所で行われた最終報告会では、任地 Meknès の現状を私なりに分析し、配属先のキャパシティを超え、モロッコで今後 PC インストラクターがどのような場所で、必要とされ活躍できるのかなど、議論を深めることができました。

自分がこの2年間で何ができたのか、何か少しでもインパクトを残すことができたのかは、実感がありません。しかし、2年の時を経て、私自身は多くの事を学び、知ることができました。

そして、それは他の何物にも替えられないものです。日本に帰国した今も、今後私に何ができるのか、考える日々が続いています。



RABAT で最後の晚餐！

最後の1週間は首都 Rabat に上京し、銀行口座を解約したり、JICA 事務所で最終報告会を実施します。そのためホテル滞在。最後に何を食べて過ごそうかと悩んで

大変でした。水曜日にしか食べられないルフィサは外せません。量がとても多いので Take out してホテルでいただきました。

可愛い見た目以上に、甘いモロッコのケーキも食べ納めです。



に挟んでもらうサンドイッチ。いわしと野菜やいろんな肉の部位を鉄板で炒めたものを挟んだサンドイッチもあります。



最後の金曜日。それはクスクスの食べ納め。キャラメリゼされた玉ねぎが中央にたくさん乗った見た目も美しいクスクスを頂き大満足でした。

好きな具を伝えて、ホブス



一番たくさん食べたのは、日本では贅沢かもしれないたっぷりのカットフルーツに、ヨーグルトやアボカドソースのかかった“フルーツサラダ”です。